

健康被害

予防事業だより



ERCA

2008年11月号

No.40

ご挨拶

独立行政法人環境再生保全機構理事長 湊 亮策



本年四月、理事長を拝命いたしました湊でございます。よろしくお願いいたします。

公害健康被害予防事業につきましては、事業者等の皆様から拠出いただきました予防基金の運用益と、本年度より新たに環境省の自立支援型公害健康被害予防事業の補助金を受けて事業を実施することとなっております。

従来の大気汚染の影響による健康被害の予防と、新たなぜん息患者の健康回復、増悪予防を支援する事業を含め、地域住民の健康確保を図ることを目的に、従来同様、環境省をはじめ、関係機関のご協力を得ながら、着実に実施していく所存でございます。皆様方におかれましては、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

目次

公害健康被害予防事業の概要	2	エコカーワールド2008 in 神戸	9
平成19年度決算及び平成20年度事業費の概要	4	エコカーワールド2008 in 横浜	9
平成20年度事業のポイント	4	大気汚染防止推進月間事業	10
平成20年度事業概要	4	新刊・パンフレットのご案内	11
平成20年度事業の実施状況(予定)	5	ぜん息電話相談室のお知らせ	12
機構が自ら行う事業の事例紹介		本誌のお問合せ先	
ぜん息電話相談	7	独立行政法人環境再生保全機構	
機能訓練研修	7	予防事業部 管理課	
調査研究発表会	8	TEL.044-520-9562(ダイヤルイン)	

公害健康被害予防事業の概要

公害健康被害予防事業は、大気汚染の影響による健康被害を予防するために実施しており、これにより地域住民の健康の確保を図ることを目的としています。

公害健康被害予防事業を実施するために必要な費用は、事業者等から拠出されている拠出金及び国からの出資金により基金を設け、その運用益により賄うこととされています。なお、平成20年度より、環境省から自立支援型公害健康被害予防事業補助金が交付されることとなっています。

公害健康被害予防事業は、機構が自ら行う事業（直轄事業）と地方公共団体が行うものに対し助成する事業（助成事業）からなっています。具体的には、次のとおりです。

（1）直轄事業

1）調査研究

ぜん息等の発症予防・健康回復に関する研究、大気環境の改善に資する調査研究など、大気汚染の影響による健康被害の予防に関する各種の調査研究

2）知識の普及等

各種パンフレット等の作成、講演会・講習会の開催、低公害車フェア、大気汚染防止キャンペーン、エコドライブ普及啓発事業の実施、ホームページによる情報の提供等

3）研修

地方公共団体が行う公害健康被害予防事業に従事する者を対象に、効果的な事業の実施に必要な知識や技術を修得させるための研修

（2）助成事業

1）ぜん息等の発症の予防、健康回復等のための環境保健に関する事業に対する助成

①健康相談、健康診査及び機能訓練事業（ソフト3事業）

（a）健康相談事業

医師、保健師等によるぜん息等に関する相談・指導

（b）健康診査事業

乳幼児を対象にアレルギーに関する問診等によるぜん息の発症予防のための指導

（c）機能訓練事業

ぜん息児童等を対象とした水泳訓練教室・キャンプ・音楽訓練教室

②施設等整備（助成）事業

医療機器等整備（助成）事業

2）大気環境の改善に関する事業に対する助成

①計画作成事業

地域の大気環境改善のための事業を計画的・総合的に実施することを目的とする計画作成事業

②施設等整備（助成）事業

地域における大気環境の改善を図るため、最新規制適合車等への代替促進、大気浄化のための植樹



詳しくは、機構HP「公害健康被害予防事業」
(<http://www.erca.go.jp/guide/guide/yobo.html>) をご覧ください。

公害健康被害予防事業

機構が自ら行うもの

1.調査研究

- ・大気汚染による健康影響に関する総合的研究
- ・局地的大気汚染対策に関する調査研究

2.知識の普及

ホームページやパンフレット等による情報の提供、フェア、キャンペーンの実施、講演会の開催等



各種パンフレット



ぜん息児水泳記録会



低公害車フェア

3.研修

地方公共団体が行う公害健康被害予防事業従事者に対する研修



機能訓練研修



保健指導研修

地方公共団体が行うもの

1.計画作成

地域の大気環境改善のための計画作成

2.健康相談

医師・保健師等によるぜん息等に関する相談・指導

3.健康診査

乳幼児を対象とした問診等によるぜん息の発症予防のための指導



4.機能訓練

ぜん息児童等を対象とした水泳訓練教室・音楽訓練教室・キャンプ合宿



水泳訓練教室



ぜん息キャンプ

5.施設等整備(助成)

- ・医療機器等整備
- ・最新規制適合車等への代替促進、大気浄化のための植樹

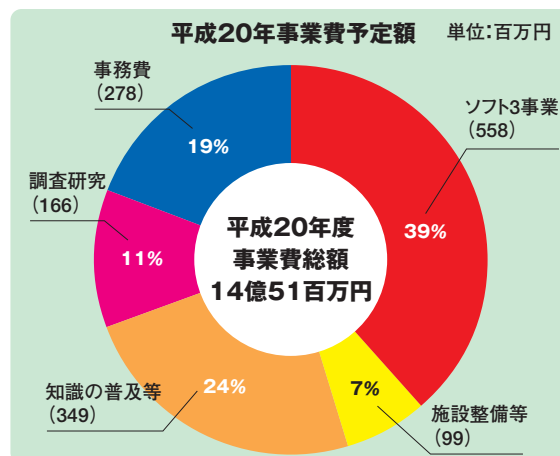
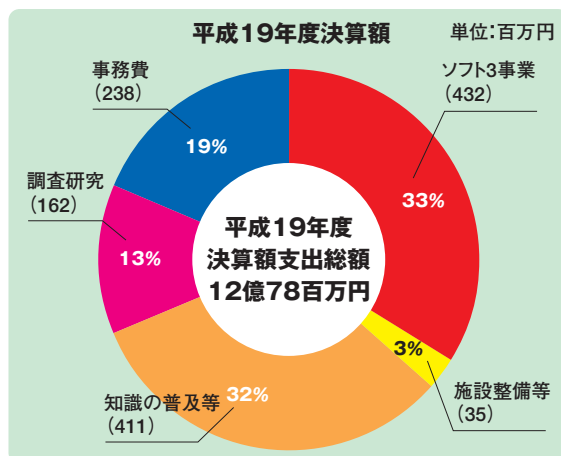


最新規制適合車等代替促進事業

自立支援型公害健康被害予防事業の概要(平成20年度より実施)



平成19年度決算及び平成20年度事業費の概要



※後記の「平成20年度事業のポイント」をご参照ください。

平成20年度事業のポイント

①助成事業

地域住民のぜん息等の発症予防、健康回復に直接つながる事業に引き続き重点化を図る観点から、健康相談、健康診査及び機能訓練事業(ソフト3事業)を重点的に助成します。

なお、その際、環境省の自立支援型公害健康被害予防事業補助金(予算額2億円)も活用します。

(注) 自立支援型公害健康被害予防事業:ぜん息患者等が日常生活の中でぜん息の予防、健康回復等を行うことを支援する事業

主な事業・家庭訪問指導

・ぜん息発症リスク児に対する指導

・15才以上の者に対する水泳訓練教室・音楽訓練教室

・ソフト3事業の用に供するピークフローメーターの支給・貸与事業及びネブライザーの貸与事業等

②知識の普及事業等

健康相談、健康診査及び機能訓練事業(ソフト3事業)の実施に必要なパンフレットの作成、ぜん息専門医による講演会・講習会の開催、ぜん息電話相談等の事業を積極的に実施します。

また、その基礎となる健康影響に関する総合的研究を着実に実施します。

③大気汚染の改善事業

局地汚染地域における大気汚染の改善に係る課題について、公募により新規に調査研究を実施するほか、エコドライブ(環境にやさしい自動車運転)に関する事業所等での取組を進めるための事業を展開します。

平成20年度事業概要

(1) 地方公共団体が行う事業に対する助成事業

(単位:百万円)

環境保健事業	ソフト3事業	健 康 相 談 事 業	57
		健 康 診 査 事 業	142
		機 能 訓 練 事 業	309
		附 帯 事 業	50
		計	558
	医療機器等整備(助成)事業		43
	計		601
環境改善事業	計 画 作 成 事 業		2
	最新規制適合車等代替促進(助成)事業		46
	大 気 浄 化 植 樹 (助 成) 事 業		6
	計		53
事 務 連 絡 等 経 費		3	
合 計		657	

(注) ソフト3事業等の環境保健事業には、自立支援型公害健康被害予防事業補助金2億円も活用

平成20年度事業概要

(2) 機構が自ら行う事業

1) 調査研究

①環境保健分野

	課 題 名
1	気管支ぜん息の発症リスク低減に関わる因子の検索と管理・指導への応用に関する調査研究
2	乳幼児のぜん息ハイリスク群を対象とした保健指導の実践及び評価手法に関する調査研究
3	気管支ぜん息患者の年齢階層毎の長期経過・予後に関する研究
4	小児及び思春期の気管支ぜん息患者の重症度等に応じた健康管理支援、保健指導の実践及び評価手法に関する調査研究
5	成人気管支ぜん息患者の重症度等に応じた健康管理支援、保健指導の実践及び評価手法に関する調査研究
6	COPD患者の病期分類等に応じた健康管理支援、保健指導の実践及び評価手法に関する調査研究

②大気環境の改善分野

	課 題 名
1	局地汚染地域における各種自動車排出ガス抑制対策の評価手法等に関する調査研究
2	局地汚染地域における窒素酸化物及び浮遊粒子状物質の複合的削減のための対策技術に関する調査研究
3	エコドライブによる大気汚染物質の排出低減効果の定量的把握に関する調査研究

2) 知識の普及

①パンフレット配布

健康相談、健康診査及び機能訓練事業(ソフト3事業)に必要なパンフレット等を作成し、地方公共団体等の協力も得て広く地域住民等に配布するほか、ぜん息&慢性閉塞性肺疾患のための生活情報誌「すこやかライフ」(32・33号)及び健康管理カレンダーを作成します。

②講演会の開催(予定)(ぜん息患者、父母等を対象)

開催(予定)日	開催(予定)場所	お問合せ先	講師
平成20年9月6日(土)	茅ヶ崎市民文化会館 小ホール	神奈川県 保健福祉部健康推進課 ☎045-210-1111	神奈川県立こども医療センター アレルギー科医長 高増 哲也 先生
平成20年11月10日(月)	東京都庁第一本庁舎5階 大会議場	東京都 福祉保健局健康安全部 ☎03-5320-4494	東京家政大学家政学部児童学科 小児医学研究室 教授 岩田 力 先生
平成21年1月31日(土)	神戸市勤労会館	神戸市 保健福祉局健康部地域保健課 ☎078-331-8181	やまおか小児科・アレルギー科クリニック 山岡 幸司 先生

③講習会の開催(予定)(養護教諭、医師等を対象)

開催(予定)日	開催(予定)場所	お問合せ先	講師
平成20年6月12日(木)	川崎市中原市民館2階ホール	川崎市 健康福祉局保健医療部 環境保健課 ☎044-200-2435	昭和大学病院小児科臨床心理士 松崎 くみ子 先生
平成20年6月30日(月)	川崎市中原休日急患診療所会議室	同上	国立病院機構相模原病院副院長 秋山 一男先生
平成20年7月3日(木)	川崎市中原市民館2階ホール	同上	用賀アレルギークリニック院長 永倉 俊和先生
平成20年7月4日(金)	神戸市役所会議室	神戸市 保健福祉局健康部地域保健課 ☎078-331-8181	神奈川県立こども医療センター アレルギー科部長 栗原 和幸 先生
平成20年8月21日(木)	東京都社会福祉保健医療研修 センター(研修施設) 5階502教室	東京都 福祉保健局健康安全部 ☎03-5320-4494	用賀アレルギークリニック院長 永倉 俊和 先生
平成20年8月22日(金)	南房総市富山公民館	板橋区立天津わかしお学校 ☎0470-94-0371	日本大学医学部付属練馬光が丘病院 小児診療総合科 小児科医長 橋本 光司 先生
平成20年9月24日(水)	杉並区産業商工会館 3階講堂	杉並区 教育委員会事務局学務課 ☎03-3312-2111	群馬大学 名誉教授 森川 昭廣 先生
平成20年11月18日(火)	名古屋市熱田保健所	名古屋市 環境局公害保健課 保健事業係 ☎052-972-2690	名古屋大学医学部附属病院薬剤部 薬剤主任 長谷川 雅哉 先生
平成20年12月2日(火)	足柄上保健福祉事務所	神奈川県 保健福祉部健康推進課 ☎045-210-1111	国立成育医療センター総合診療部小児期 診療科医長 教育・研修部長 赤澤 晃 先生
平成20年12月5日(金)	名古屋市女性会館ホール	名古屋市 環境局公害保健課 保健事業係 ☎052-972-2690	天理よろづ相談所病院小児科部長 小児アレルギーセンター長 南部 光彦 先生

平成20年度事業概要

開催予定日	開催予定場所	お問合せ先	講師
平成21年1月30日(金)	豊中市教育センター	豊中市 健康づくり推進課 ☎06-6858-2812	大阪府済生会中津病院 小児科、免疫・アレルギーセンター部長 末廣 豊 先生
平成21年2月6日(金)	東京都議会議事堂 都民ホール	東京都 福祉保健局健康安全部 ☎03-5320-4494	未定

④ぜん息電話相談事業

実施期間	相談時間	相談員
平成20年4月1日～平成21年3月31日 月～金(祝日・土日除く)	9時～17時	専門医又は看護師

⑤ぜん息水泳記録会の開催

実施日	地区	開催場所
平成20年9月23日(火)	水泳記録会(関西地区)	大阪プール(大阪市港区)
平成20年10月4日(土)	水泳記録会(関東地区)	東京辰巳国際水泳場(東京都江東区)

⑥低公害車フェア等開催

開催日	お問合せ先	開催場所
平成20年5月17日～18日	神戸市 環境局環境保全指導課 ☎078-322-5302	神戸メリケンパーク
平成20年6月7日～8日	横浜市 環境創造局環境保全部交通環境対策課 ☎045-671-5490	横浜みなとみらい21 赤レンガ倉庫特設会場
平成20年9月7日	名古屋市 環境局公害対策部交通公害対策課 ☎052-972-2682	久屋大通公園
平成20年9月20日～21日	埼玉県 環境部青空再生課 ☎048-830-3063	20日鐘塚公園 21日JR浦和駅東口
平成20年10月4日～5日	北九州市 環境局環境政策部都市環境管理課 ☎093-582-2238	リバーウォーク北九州

⑦大気汚染防止推進月間キャンペーン

「大気汚染防止推進月間(毎年12月)」の一環として、ポスターについて公募・掲出等を行います。

⑧エコドライブコンテストの実施

「エコドライブ」を普及・推進させることを目的に、地方公共団体、(社)全日本トラック協会等と連携し、説明会やセミナーを開催するとともに、「エコドライブコンテスト」を実施し、優秀な事業所を表彰します。

⑨エコドライブ推進ステッカーの作成・配布

3) 情報提供

機構ホームページの中の「ぜん息などの情報館」、「大気環境の情報館」及び「エコカーワールド」について、内容をより一層充実するため、利用状況及び利用者のニーズの把握に努めるとともに、最新の情報等を随時提供します。

4) 研修(地方公共団体の職員を対象)

コース名	実施場所	実施(予定)日
初任者研修	(小児) 東京	平成20年6月3日
	(成人) 東京	平成20年6月4日
機能訓練研修	東京	平成20年6月30日～7月2日
保健指導研修 (西日本)	(小児) 大阪	平成20年9月10日～12日
	(成人) 大阪	平成20年9月25日～26日
保健指導研修 (東日本)	(小児) 東京	平成20年10月15日～17日
	(成人) 東京	平成20年10月23日～24日
予防事業フォローアップ研修(水泳事業)	東京	平成20年11月13日～14日
環境改善研修	東京	平成21年1月15日～16日

詳しくは、機構HP
「公害健康被害予防事業研修」
(<http://www.erca.go.jp/asthma2/seminar/training.html>)
をご覧ください。

機構が自ら行う事業の事例紹介

ぜん息電話相談

ぜん息電話相談室では、ぜん息の薬や症状、日常生活に関する注意点などの質問を受け付け、相談員がアドバイスを行っています。お気軽にご相談ください。詳細は、最終ページ（裏表紙）をご覧ください。

お電話から

（呼吸はいーよ）

フリーダイヤル:0120-598014

受付曜日・時間:

月～金（祝祭日を除く）9:00～17:00

ホームページから

「ぜん息電話相談室」ホームページにある

「メール相談フォーム」からご相談ください。

詳しくは、機構HP「ぜん息電話相談室」

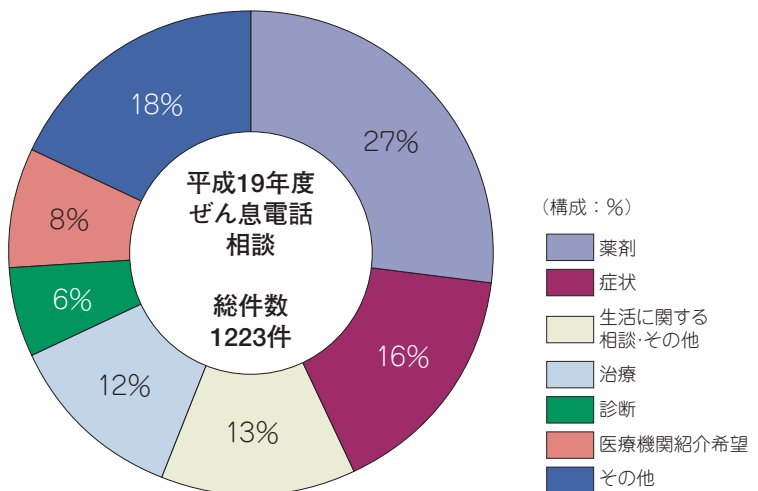
(<http://www.erca.go.jp/asthma2/tel/tel.html>) をご覧ください。

ぜん息電話相談

平成19年4月2日～平成20年3月31日（実日数235日間）の期間中に、相談室には1,223件の相談が寄せられました。

相談者の8割（83%）が女性で、年齢層としては「30歳代」（42%）が一番多く、「40歳代」（22%）、「50歳代」「60歳代」（各12%）と続いておりました。居住地については、「関東」（52%）が半数以上を占め、「近畿」（19%）「北陸・中部」（14%）となっておりました。回答内容に対する評価（納得度）は、「非常に良かった」が6割で、「良かった」を合わせるとほとんどの方（92%）に満足していただきました。

また、相談内容（右のグラフ参照）については、「薬剤」に関するものが（27%）、「症状」に関するものが（16%）となっておりました。



機能訓練研修

6月30日（月）～7月2日（水）の3日間、機能訓練事業に携わる保健師・指導員及び事務担当者の方を対象に、事業への理解を深め、各種事業の実施に必要な知識及び技術を習得し事業に活かすことを目的に、機能訓練研修を開催しました。

講義内容：専門医等によるぜん息の基本から最新情報の提供、音楽教室の指導法等。



「音楽療法の実習風景」

参加者全員で輪になって座り、歌に合わせて隣の人の肩や膝をたたきます。みんなで笑いながら歌うことを楽しみ、腹式呼吸を自然と覚えていきます。



「ピークフローメーターの測定方法」

実際にピークフローメーターを吹き、どのように測定するのかを学びます。ピークフローメーターは、ぜん息患者の日々の自己管理のために、非常に役立つツールです。「ぜん息日誌」と併せて活用することが大切です。（機構では、子供用と大人用の「ぜん息日誌」を無料で配付しています。）

機構では、大気汚染の影響による健康被害を予防するために必要な事業の一環として、調査研究事業を行なっています。大きく分けて環境保健分野と環境改善分野に分けられ、環境保健分野では当年度に実施した調査研究を3月に、環境改善分野では6月に、前年度に実施した調査研究の発表と評価委員による評価を行いました。

第19回環境保健調査研究報告会（環境保健分野）

3月9日（日）時事通信ホール（東京都中央区）にて、平成19年度に実施した「第7期大気汚染による健康影響に関する総合的研究（2年目）」の内容、次年度以降の方向性などについて、研究者より発表していただきました。当日は研究者、自治体の方など関係者約80名に参加していただきました。



【第7期大気汚染による健康影響に関する総合的研究（2年目）】

I 気管支ぜん息発症予防のための日常生活の管理・指導に関する調査研究

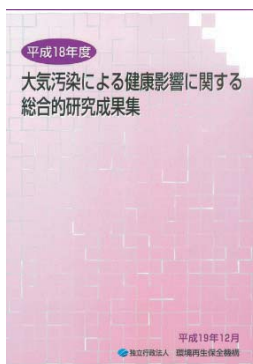
- ・気管支ぜん息の発症リスク低減に関わる因子の検索と管理・指導への応用に関する調査研究
- ・乳幼児のぜん息ハイリスク群を対象とした保健指導の実践および評価手法に関する調査研究

II 気管支ぜん息患者の長期管理支援、保健指導に関する研究

- ・気管支ぜん息患者の年齢階層毎の長期経過・予後に関する研究
- ・小児及び思春期の気管支ぜん息患者の重症度等に応じた健康管理支援、保健指導の実践及び評価手法に関する調査研究
- ・成人気管支ぜん息患者の重症度等に応じた健康管理支援、保健指導の実践及び評価手法に関する調査研究

III COPD患者の増悪回避、QOL向上のための管理・指導に関する調査研究

- ・COPD患者の病期分類等に応じた健康管理支援、保健指導の実践及び評価手法に関する調査研究



※平成18年度における研究結果をとりまとめた報告書（左写真）をご希望の方は、機構までお問い合わせください。なお、平成19年度版については近日刊行予定となっております。

なお研究成果や評価委員による評価結果の内容については、ホームページでも掲載しています。

詳しくは、機構HP「調査研究」

（<http://www.erca.go.jp/asthma2/library/investigate/index.html>）をご覧ください。

環境改善調査研究成果発表会（環境改善分野）

6月24日（火）、東京都新宿区にあるウェルシティ東京（東京厚生年金会館）で「環境改善調査研究成果発表会」が開催されました。発表会には、発表を行う研究者のほか、地方公共団体や企業等より、ご参加いただきました。

この調査研究では、主に自動車による局地的な大気汚染を改善するための技術開発や施策の提案に重点を置いて実施しています。今回発表を行ったのは、平成19年度に実施した以下の3課題です。

【局地汚染対策事業の有効性等に関する調査研究（3年目）】

I 窒素酸化物及び粒子状物質に係る排出ガス診断装置の実用性に関する調査研究

II 高活性炭素繊維を用いた沿道排ガス削減技術に関する調査研究

III 局地汚染地域における窒素酸化物及び浮遊粒子状物質の複合的削減のための対策技術に関する調査研究



エコカーワールド

毎年、6月の環境月間にはさまざまな環境に関する行事が行われています。

環境再生保全機構予防事業部でも、様々な種類のエコカーを展示する「エコカーワールド」を実施しました。

なお、今年のエコカーワールドは横浜のほか、5月にG8大臣会合の関連イベントとして神戸でも開催しました。

エコカーワールド2008 in 神戸

開会式テープカット→

鴨下環境大臣もエコカーに試乗・内覧いただき、開会式ではテープカットされました。



主 催：環境省、環境再生保全機構、神戸市
会 場：神戸メリケンパーク
来場者：3万1千人（2日間）

今年はG8大臣会合が開催されることもあり、神戸でも開催しました。

エコカーワールド2008in神戸のテーマは「見て楽しい 乗って楽しいが勢ぞろい」。最新の電気自動車や燃料電池自動車などの低公害車（エコカー）が約90台展示されたほか、実際にエコカーに乗ってその性能を体感してもらう試乗コーナーなどを設けて、エコカーを満喫してもらいました。

エコドライブ度を診断できるドライブシミュレーターのコーナーにも多くの方が参加され、近年エコドライブの関心が高まっていることも感じられました。

エコカーワールド2008 in 横浜

23回目を迎えましたエコカーワールドですが、横浜での開催も今年で5回目となりました。

エコカーワールド2008in横浜のテーマは、「エコでつながるクリーンな未来」。こちらでもエコカーワールド2008in神戸と同様に、約90台のエコカーを展示しました。

エコカーを見て、触れていただくのはもちろん、近年のガソリン高騰でも注目される「エコドライブ」について理解していただくための「エコドライブコーナー」なども設けました。

多くの来場者のご協力もあり、クリーンな未来について考えていただけるイベントとなりました。



←環境大臣、横浜市長、機構理事長による内覧

エコカー展示会場の内覧では、その構造や環境性能について、メーカー担当者や熱心にお話されていました。



5月17、18日エコカーワールド2008in神戸と6月7、8日エコカーワールド2008in横浜との4日間全てで天候に恵まれ、両会場ともたくさんの方にご来場いただきました。ありがとうございました！

詳しくは、機構HP「最新情報」(<http://www.erca.go.jp/>)をご覧ください。

大気汚染防止推進月間事業

環境省と環境再生保全機構及び全国都道府県では、毎年、都市における大気汚染物質濃度が高くなる12月を大気汚染防止推進月間とし、主に自動車利用者（荷主、運転者等）やビル所有者を対象とする各種啓発活動を実施して、窒素酸化物や粒子状物質の排出低減を広く呼びかけています。現在、機構では事業の一環として下記の募集を行いました。

★ 平成20年度大気汚染防止推進月間 ポスター図案募集

大気汚染防止を呼びかけるポスターの図案について、公募を行いました。優秀作品は本年度の「大気汚染防止推進月間」のポスターとして全国各地に掲示されるほか、来年のカレンダーなどに活用される予定です。

■応募締め切り

平成20年9月16日（火）

■発表

平成20年11月中旬



『あなたの好きな空は、
どんな空ですか?』

＜前年度受賞作品＞

環境大臣賞



環境再生保全機構理事長賞



詳しくは、機構HP「大気環境の情報館」ページ
(<http://www.erca.go.jp/taiki/index.html>) のバナーからご覧ください。

★ 平成20年度大気汚染防止推進月間 エコドライブコンテスト3,860事業所から応募

このコンテストは、事業者のエコドライブの取り組みを競うもので、自動車を運転するドライバーとその自動車を保有する企業の協働によってエコドライブを継続的に推進し、大気汚染の防止につなげることを目指しています。

今年度は協力自治体が大幅に増えて、都道府県と政令指定都市の58自治体が揃って参加を呼びかけました。

参加例：エコドライブを積極的に取り組んでいる企業は、コンテストに応募して自社の取り組みの力試し。

これから取り組もうとしている企業は、エコドライブに取り組むキッカケとしてアンケート参加。

エコドライブ活動をステップアップする。

■コンテスト結果発表

平成20年11月中旬



詳しくは、機構HPトップページ
(<http://www.erca.go.jp/>) のバナーからご覧ください。



新刊パンフレットのご案内

パンフレット（保健）

ぜん息&COPDのための生活情報誌



ぜん息と慢性閉塞性肺疾患の方を対象に最新情報を掲載している生活情報誌。著名人へのインタビュー、読者 Q&A などのコーナーもあります。

平成 20 年 9 月発行
A4 判 24 頁

パンフレット（保健）

ぜん息のおはなし



専門講師によって実際に行われている「ぜん息教室」の様子を収録したものです。ぜん息の基礎知識等についてわかりやすく説明されています。

平成 20 年 1 月発行

DISC 1 小学生用（48 分）
DISC 2 中・高生用（48 分）

ステッカー（改善）



エコドライブに取り組んでいることをアピールし、周囲に理解を求めるためのステッカーで、後続車からも大きく見やすいようにデザインしてあります。

大きさは乗用車用（上）とトラック用（下）の 2 タイプ用意しており、事業所のほか個人の方でも使用いただけます。

パンフレット（改善）

大気汚染の改善に関する TDM 施策マニュアル



交通需要マネジメント（TDM）施策の導入前後の効果を算出する方法を検討しつつ、各種 TDM 対策を集中的に実施する計画案の策定手法及びその手順についてまとめたものです。「イントロダクション編」、「TDM 施策マニュアル編」、「プラクティス編」の 3 編から構成されています。

平成 20 年 3 月発行
B5 判 233 頁

【パンフレット等のお申し込み・お問い合わせについて】

環境再生保全機構では、パンフレット等の無料配布、各種パネルやビデオ・DVD・CD 等の貸し出しを行っています。お申し込みはお電話（平日 9:00～18:00）、または FAX、ホームページから受け付けています。お気軽にお問い合わせ下さい。

● FAX でのお申し込み **FAX 044-520-2134**

● ホームページでのお申し込み

ぜん息等に関するものはこちらへ 予防事業部 環境保健課 電話 044-520-9568

環境再生保全機構ホームページから……「ぜん息などの情報館」→「パンフレット&ビデオ」



▶ ぜん息などの情報館



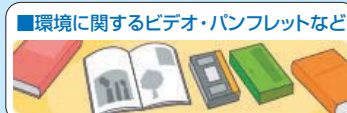
⇒ **パンフレット&ビデオ**

大気環境に関するものはこちらへ 予防事業部 環境改善課 電話 044-520-9567

環境再生保全機構ホームページから……「大気環境の情報館」→「環境に関するビデオ・パンフレットなど」



▶ 大気環境の情報館



ぜん息電話相談室のお知らせ



どうすればいいの……セキが止まらない……原因は何かしら……どんな薬があるの……
電話のむこうに、「専門」のお医者さん。

ぜん息のこと、なんでも、誰でも 幼児 小児 学生 成人 ご相談ください



専門医、看護師とあなたをつなぐ ほっと ライン。
ぜん息電話相談室 相談無料
フリーダイヤル **0120-598014**
こ き ゅ う は い ~ よ

専門医・看護師がお答えします。【受付曜日・時間】月～金（祝日を除く）9:00～17:00

ぜん息に、電話一本「呼吸はイイよ」

ぜん息に関する治療法、お薬、予防法、介護、看護、運動、学校生活、出産、日常生活での注意点等をアドバイスいたします。相談室では診療は行っておりません。ご相談はフリーダイヤルのほか、下記FAX、メールでも受付しています。どうぞご利用ください。

FAX:03-3571-3372 <http://www.zensoku.pr.arena.ne.jp/>
ご氏名、年齢、性別、住所、電話番号、FAX番号を明記のうえ、上記のFAX番号またはホームページよりお送りください。



独立行政法人
環境再生保全機構

〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310
ミュージア川崎セントラルタワー8F
<http://www.erca.go.jp/>